

動かないプログラムを動かすために

初音 玲  
HATSUNE, Akira

# リモートデバッグ コンポーネントのノウハウ

## リモート実行環境でのデバッグ

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:  
リモートデバッグコンポーネント

### Level



### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥FEATURE01\_01ディレクトリに収録しています。  
¥0403WEB  
本稿で使用したサンプルアプリケーション

### はじめに

IISが稼動しているマシンにVisual Studio .NET (以下VS.NET) をインストールして、“開発環境=実行環境”とすると、デバッグなども行ないやすく、「開発時はうまくいったのに実行環境では問題が発生する」ということも少ない。

しかし、場合によっては、IISが稼動しているマシンにVS.NETの開発環境をインストールできないこともある。このような場合、VS.NETリモートデバッグコンポーネントだけでもインストールできれば、図1のように開発用PCからリモートでデバッグが可能になる。

なお、本特集ではすべて、ソリューション

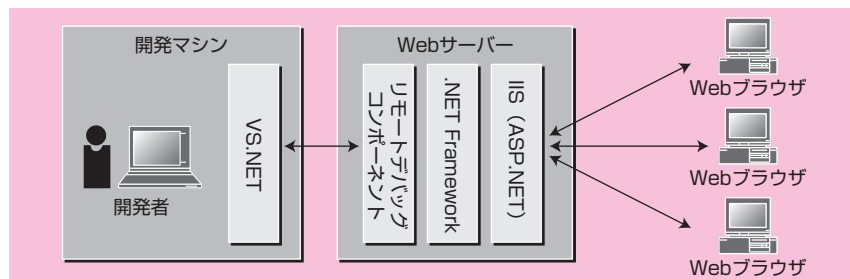
ョン構成を「Debug」としてビルドしたASP.NET Webアプリケーションを前提としているので、ご留意いただきたい。

### リモートデバッグコンポーネントの導入と設定

IISが稼動しているマシン (以下「リモートサーバー」) にリモートデバッグコンポーネントを導入するには、いくつかの方法があるが、一番簡単なのは、VS.NETのCD-ROMからインストールする方法だ。

**手順 1** .NET Framework 1.1がリモートサーバーにインストールされていないときは、「VS.NET 2003 Pre requisites」と書かれたCD-ROMを

図1：開発環境をインストールしていない実行環境



## リモートデバッグコンポーネントのノウハウ

図2: .NET Frameworkのインストール



ドライブに入れて、dotNetFramework フォルダの中の“dotnetfx.exe”を実行する

**手順 2** すでに.NET Framework 1.1 がインストールされている場合や手順1を完了したときには、「VS.NET 2003 Disc1」と書かれたCD-ROMをリモートサーバーのドライブに入れて、“リモートコンポーネントセットアップ”をクリック(図2)し、完全リモートデバッグサポートの[標準インストール] ボタンをクリックする

**手順 3** リモートデバッグコンポーネントを利用するため、リモートサーバーの“Debugger Usersグループ”にデバッグするユーザーを追加する

**手順 4** 今回は、Webアプリケーションをリモートデバッグするので、ASP.NETプロセスを制御する必要があるため、リモートサーバーの“Administratorsグループ”にデバッグするユーザーを追加する

図3: レジストリの設定結果

表1の①設定後



表1の②設定後



表1: レジストリ設定

① [HKEY\_LOCAL\_MACHINE] - [SOFTWARE] - [Classes] - [AppID] 直下に登録

キー	値 (名前)	種類	データ
{6EB22881-8A19-11D0-81B6-00A0C9231C29}	(既定)	文字列値 (REG_SZ)	Catalog Class
	DllSurrogate	文字列値 (REG_SZ)	

② [HKEY\_LOCAL\_MACHINE] - [SOFTWARE] - [CLSID] - [CLSID] 直下に登録

キー	値 (名前)	種類	データ
{6EB22881-8A19-11D0-81B6-00A0C9231C29}	(既定)	文字列値 (REG_SZ)	Catalog Class
	AppID	文字列値 (REG_SZ)	{6EB22881-8A19-11D0-81B6-00A0C9231C29}

以上でリモートサーバーの設定は完了だ。

## DCOMの設定

リモートサーバーと開発マシンとの間はDCOM (分散COM) により通信が行なわれる。通常、Windows NT/2000/XPなどにはデフォルトでDCOMがインストールされているので新たにインストールする必要はないが、リモートデバッグコンポーネントがDCOMを使う上での設定が必要だ。

**設定1** ▶ リモートサーバーで“regedit.exe”を使って、表1の内容を登録する(図3)

**設定2** ▶ “dcomcnfg.exe”を起動して、Catalog Classに対するアクセス許可を“Administratorsグループ”と“Debugger Usersグループ”に設定する(図4)

## Webアプリケーションのインストール

リモートサーバーの準備ができたならば、本特集記事の「Visual Studio